

福田 修(監修)
星 文彦・伊藤俊一(編集)

「PT・OTのための測定評価 バランス評価」

望月 久
(文京学院大学保健医療技術学部)

バランスの低下は活動制限の要因となり、バランスの改善は理学療法士・作業療法士にとって重要な課題である。しかし、バランスという用語の示す内容(概念)については理学療法士・作業療法士間で合意のある明確な定義がなく、臨床や研究、臨床実習の場において、問題が生じやすい用語でもある。

このような現状のなか、この度、星 文彦・伊藤俊一両氏による「PT・OTのための測定評価 バランス評価」が発刊された。「第1章 総説」では、本書全体の概要とバランスおよびその評価方法についての考え方が平易に記述されている。「第2章 用語の定義」では、姿勢、身体重心と支持基底面、重心位置と足圧中心、立ち直り反応と平衡反応、予測的姿勢制御といった、バランスに関連する重要な用語について図や写真

を用いて簡潔に説明されている。「第3章 機能評価と検査」では、立ち直り反応・平衡反応などの反射階層的視点および運動戦略・生体力学的視点によるバランスの検査法とその解釈について、多くの姿勢における評価例を、写真を用いて解説している。また、第3章の後半では、Berg balance test, functional reach, timed Up & Go test などのパフォーマンステストの検査方法や検査にあたっての注意点が記載されている。

全体に平易で簡潔な解説に加えて、的確な図や写真が多く、付録のDVDも併用することで、視覚的にバランス評価の基本が学習できるように工夫されている。冒頭に記したバランスに関する議論のあるなか、バランスの概念から評価方法、そしてその解釈までを、的確な写真や画像を用いて平易に解説した本書は、編集者の長年のバランスに関する研究や臨床・教育の場での経験の賜物であろう。本書は、バランスに関する基礎的事項を学習する教材として、推奨したい一冊である。

●B5判 100頁

定価 3,990 円(本体 3,800 円+税 5%)

2008 年 三輪書店・刊